８．その他

８－１　他の援助機関の動向

現地調査時(2001年１月24日及び２月７日)に聞き取りした要約を、以下に示しておく。

(1) JBIC

1) 東・西ヌサテンガラ州に係るプロジェクトについては、現在SPL on Rehabilitation of 56 Fishing Port and PPI (1999-2000)を実施中。

2) 当プロジェクトにおける東・西ヌサテンガラ州のサイトはPPI (teluk Santong)、Fishing Port (Kupang)、PPI (Oeba)の３か所で実施しており、特にサイト選定はインドネシア政府の意向に基づいて決定しているとのこと。

3) 地方分権化について、今後は地方政府からの要請となるため、特に他地域との整合をとったうえでの要請があがりにくい点が懸念されること、今後のプロジェクト採択にあたっては、この点に注意をして決定していく必要があるとのコメントがあった。

(2) ADB

1) 地方分権化のため、予算配分の実施は３月ごろの予定。本年度は混乱があるだろう。

2) 援助機関で地方分権に力点を置いているのは、ドイツのGTZである。

3) スンバワ、フローレスの両島については、ADBの道路リハビリで主要幹線を整備した。

4) ロンボク、スンバワ島では小規模ダム開発や灌漑整備を実施。特にスンバワ島については、ADB融資で日本工営(株)の施工によるSSIMP (Small Scale Irrigation Management Project)が1988年より実施されている。今後はダム湖での内水面漁業や養殖の振興が望まれる。

5) ADBが融資しインドネシア政府と協同で実施している“Coastal Community Development and Fisheries Resource Management Project (ADB Loan Nos.: 1570/1571 (SF)-INO)”では、スマトラ島(Bengkalis)、ジャワ島(Tegal, Prigi, Muncar)、ロンボク島(Solong)の３島、計５サイトでプロジェクトを実施している。ロンボク島東部に位置するSolongのプロジェクトサイトとの情報交換はJICA開発調査に有益であるとのコメントがあった。

また、ジャカルタにあるCo-Fish Project事務所内には資料や文献が収集されている。インドネシア語の資料・文献を英訳し、データベース化し援助機関間で共有することは、有益であるとのアドバイスがあった。なお、事務所の住所は下記のとおりである。

Depatemen Eksplorasi Laut Dan Perikanan, Direktorat Jenderaln Perikanan

Co-Fish Project

Jl. Terogong Raya No. 34 Cilandak Barat, Jakarta 12430

Tel: (021) 7512278, Fax(021) 75901257

(3) Aus-Aid

1) チモール島で実施していたCommunity Base Management of Coral Reef Projectは治安の悪化のため、３月にフローレス島にサイトを移動する。協力期間は2001年３月より３年間の予定、現地のNGOsを活用しサンゴ礁域の資源管理をプロジェクト目標とする。下記２名の専門家がマウメレ郡地域開発事務所（BAPPEDA）とマウメレ郡水産事務所（Dinas Perikanan）で、それぞれ活動する予定である。

Mr. John Schottler/Team Leader（BAPPEDA配属予定）

Mr. Greg Andrews/Coastal Resources Management Adviser (Dinas Perikanan)

連絡先　E-mail：acilfloves@telstra. com

2) このプロジェクトの対象地域はマウメレ郡の北部海域をフィールドとして、Co-Managementのパイロットプロジェクトを計画している。そのため、JICAが実施する開発調査では、この地域/マウメレ郡には、あまり重点を置かず、その他の地域に調査の重点を置くべきであろう。また現地のAus-Aidの専門家は、JICA開発調査団との情報交換について積極的であった。

3) ジャカルタのAus-Aid事務所（オーストラリア大使館内）で、下記のAus-Aidプロジェクトの担当者２名に面会し、事前調査（S/W協議）団がフローレス島で調査及び協議した内容についての概要について報告を行った。

両名ともJICA開発調査とAus-Aidプロジェクトとの情報交換については積極的で、本開発調査のインセプションレポート時には、双方のプロジェクト概要又はプロジェクト・ドキュメントの交換については可能であるとのコメントを得た。

Australian Embassy

Jl. H.R. Rasuma Said Kav. C15-16, Jakarta 12940

Tel: (6221) 25505570, Fax(6221) 5227106

Ms. Kim Henderson/Second Secretary,

Mr. Didi S. Marjimi/Senior Program Officer,

(4) GTZ

1) 援助の力点を地方分権化に置く。この方針は、地方政府の行政能力と人材育成を行い援

助の効率性をめざすため。また、地方分権の動向をホームページで公開している。アドレスはhttp://www. gtzfdm. or. idである。

2) ロンボク島、スンバワ島では地域開発のプログラムがあり、このプログラムに水産分野の小規模プロジェクトがある。詳細についてはプロジェクトサイトで問い合わせしてほしい(その後、プロジェクトサイトで聞き取り調査を行った)。

3) 海洋分野のGTZ専門家がジャカルタにいる。勤務先は下記のとおり。当GTZ専門家は一時帰国中であったため、事前調査(S/W協議)期間中に面会することができなかった。

KEHATI - Indonesian, Biodiversity Foundation Gedung Patra Jasa 2nd Floor, Jl. Jend. Gatot Subroto Kav. 32- 34, Jakarta 12950

4) 東部インドネシア地域(Lombok, Sumbawa, Sumba, Alor, West-Timor)の5つの島を対象にし、4プロジェクトで構成したプログラムを実施している。このプログラムの概要は図8－1のとおりである。

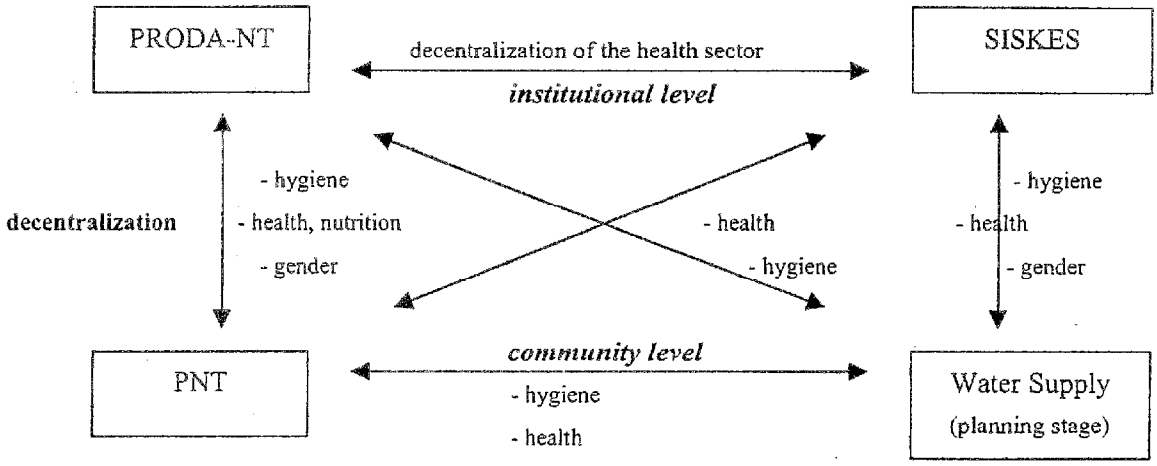

図8－1　プログラムの概要

また4プロジェクトの名称と略称については、次のとおりである。

① Improvement of the District Health System in NTT (SISKES)

② Support for Decentralisation Measures in the Nusa Tenggara Provinces (PRODA-NT)

③ Selth-Help Promotion for Low Income Communities in Critical Rural Area in NTB/NTT (PNT)

④ Water Supply (planning stage)

このうちPNTプロジェクトでは、貧困撲滅を目的とした零細農村・漁村を対象とした活動を実施している。またプロジェクト対象地域のベースラインデータも整備しているので、

本格調査では、PNTプロジェクトとの情報交換は有益であろう。なお、プロジェクトの連絡先は下記のとおりである。

Jalan Pendidikan No. 43, P.O.Box 90; Pos Cakranegara; Mataram Lombok - NTB

Tel: +63-(0) 370-621389 or 641749

Fax: +63-(0) 370-623293

E-mail: nusamaju@mataram. wasantara. net. id

（5）FAO

1） 漁業法整備の技術協力（TCP）を実施しているが、地方分権化の動向が不明のため、このTCPの活動を一時中止している。

2） 国家予算の配分は林業・水産分野で、中央政府が20%、地方政府が80%になるとFAOでは予測している。

3） 東部インドネシア（特にヌサテンガラ州など）地域では、外貨獲得や所得向上をめざし、漁業ライセンスの乱発する可能性があるとみている。

4） 漁獲後の鮮度保持の改善や流通整備を行うことで、資源の有効利用を計る取組が必要とのコメントがあった。

5） 利用者負担の概念を組み入れた、CBRMなどの組合組織の構築を検討する必要があるとのコメントがあった。